

哀 悼

別府史談会

本会顧問・前副会長の相良範子先生は、平成二十一年十月五日、逝去されました。享年八十三歳でした。

先生は、大分第一高等女学校を卒業の後、終戦の年、相良好仁氏と結婚、母堂溝部ミツエ氏が創立された別府高等技芸学校の充実に助力され、やがて当校の別府女子高等学校・別府女子短期大学への発展の基礎づくりを支えられました。

母堂の逝去後は、好仁氏とともに幼稚園から短大までを包括する溝部学園の経営発展に尽力されました。

先生は、本会が発足した当初から副会長として、会の発展に尽され、研究活動ばかりでなく、薄弱な会の経済運営に機会あるごとに多大な支援を続けられました。職務の多忙と高齢を理由に退会、と同時に顧問に推され、陰ながらの鞭撻を戴いている最中の訃報でした。

先生の別府史談会への永年の寄与に対して感謝の念を捧げますとともに、衷心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成二十二年三月